



「創立10周年記念式典」開催

令和5年6月1日（木）川崎市総合自治会館にて「創立10周年記念式典」を開催しました。第1部式典には、伊藤副市長はじめ市議会議員や福祉関係者、会員と一般の方など総勢49名にご出席いただきました。

会長挨拶に続き、来賓の皆様にご祝辞をいただいたあと、長年に渡りご寄付を賜っている「一般社団法人川崎市弘済会」様とホームページの作成にご支援、ご協力を賜っている「Webかわさき」様に感謝状を贈呈しました。

第2部講演会では、全国手をつなぐ育成会連合会副会長の小島幸子氏から「すったもんだの日々」という演題でお話をいただきました。



ホームページ、リニューアル公開
「川崎市育成会手をつなぐ親の会」で、検索してください。



《美和会長挨拶》

本日はお忙しい中ご臨席を賜りました伊藤副市長はじめ、ご来賓の皆さま、そして会員の皆さま、お集りをいただきましてありがとうございます。常日頃から、当会の活動にご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。



平成25年4月から「川崎市育成会手をむすぶ親の会」として活動を始めて10年が経ちました。当会は知的障害児者とその家族のための福祉増進と安心して地域で暮らせる共生社会の実現を目指して活動することを目的としています。創立10周年記念としてこの式典を開催いたしました。知的障害者親の会としての活動を始めたのは67年前になります。当初は子どもを学校に通わせたいとの願いから「ひまわり会」を立ち上げたと聞いています。その頃の活動が現在の福祉サービスの充実につながっています。

しかし、親の支援無き後の不安は、昔も今も変わっていないように思います。先日の総会での話ですが、「住まいの選択肢も、一人暮らし、シェアハウス、グループホーム、入所施設など増えてきた。しかし、人手不足で支援者がいないということになれば、最終的には大勢を一か所に集めて支援するというようになってしまうのではないか」との不安の声が出ました。また、数か月前に参加した講演会で、「福祉サービスが増えて選べるようになってきているが、利用する本人より事業者のためのものになっているものもあるのではないか」と講師の発言がありました。個々のニーズに合った本人のための福祉サービスの充実を目指して活動を進めていく必要があります。今日、ご参加してくださっている皆様、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

当会の課題として、会員の減少があります。会の活動を多くの方に知っていただき、活動の灯を消さないようにしていくことをお誓いして、結びの言葉とさせていただきます。

《来賓祝辞》

川崎副市長 伊藤 弘 氏

創立10周年記念式典が開催されましたことを、心よりお慶び申し上げます。皆様方の10年には大変なご苦労・困難があったのではないかと推察いたします。特にこのコロナ禍の3年間は、先の見えないなかで、会長始め会員の皆様のご尽力によりまして、福祉政策が後退することなく活動頂きましたことに敬意を表し、心から感謝申し上げます。今年は第5次ノーマライゼーションプランの中間見直しの年にあたります。親の会を始め様々な団体と連携協同し、障害のある方が地域で自立して親亡き後も安心して暮らせるように、精一杯取り組んで参ります。



川崎市議会議員 青木 功雄 氏

10周年記念式典、誠にありがとうございます。川崎市が皆様とお子さんが生き生きと生活できる街になるように、行政に足りないところを話し合うことが我々の仕事です。ご意見を市政に反映させながら、皆様と一緒に共生社会を目指します。



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会長 浮岳 堯仁 氏

川崎市社会福祉協議会の事業活動に、美和会長が役員としてご協力をいただいていることに、感謝を申し上げます。皆様のお力を貸していただき、誰でもが住みやすい街づくりにまい進いたします。



《感謝状授与》

当会の活動にご支援ご協力くださっている「一般社団法人川崎市弘済会」様と「Webかわさき」様に感謝状を贈呈しました。

第2部記念講演会

「すったもんだの日々」

講師

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

副会長

小島 幸子 氏

強度行動障害の息子さんを持つ小島氏、ご自身の子育てから「すったもんだの日々」について、「どんな人に助けてもらってきたか」「親だからできること、親にしかできない活動をしていく」「育成会を続けてきた理由」「虐待防止法で大事だと思っている3つの柱」などお話しいただきました。



「どんな人に助けてもらってきたか」では、相談支援専門員に、施設に行かれなくなってしまった時に行くための方法を提案してもらったこと、体調が悪くなっても病院へ行かれない息子さんを訪問診療につなげてくれたこと。また初めての入院では、関わってくれた医療関係者の方を「チームボン」としてお話しくださいました。

「この子が入院するような病気になったら諦めるしかない」と考えていたそうですが、チームボンの試行錯誤を繰り返しての対応により、初めは急患室にも入れなかった息子さんも最後には治療をしっかりと受けられたとのことでした。

「親の記憶が確かなうちに支援チームに伝えたい。私たちの子どもの場合は人ではなく支援チームに」というお話がありました。小島氏の地元栃木県ではサポートガイド(引継ぎ書)があるそうですが、専門家から、「サポートガイドも良いが、写真で簡単に、またエピソードも入れるとわかりやすい」というお話があったそうです。小島氏はライフストーリーワークとして写真日記のようにして講演のスライドにもされていました。

講演は和やかに、またユーモアたっぷりのお話に、会場から笑い声が聞こえる場面もありました。こうして笑ってお話しできるようになるまでには悩むこともたくさんあったかと思いますが、聞いていると元気が出てくるお話に、今悩んでいる方にもぜひ聞いていただきたいと思う講演でした。

また、「支援チームに伝える」ということの大切さなど、改めて考えさせられました。

(木村 益美)

知的障がい児者・自閉症児者の

生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただく、知的障がい児者、自閉症児者のための病気がケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

主な補償内容		
病気がケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

2023年7月1日現在の加入者は9,800名余です。毎月1日付で加入できます。ご加入よろしくお願いたします。

会長挨拶

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



暑い日が続きますが、会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。今年度も益々のご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

さて、5月12日（金）の「第11回総会」の役員選出において三役一同が再任されましたが、副会長・会計がそれぞれ2人体制となりました。力を合わせてより一層活動を進めてまいります。

6月1日（木）創立10周年記念式典と、6月24日（土）川崎市心身障害児者福祉会には、多くのご来賓と会員の方々のご参加をいただき、盛会に開催できたことを感謝申し上げます。

福祉大会で申し上げた第5次ノーマライゼーションプランの改定について、当会から意見書を提出しました。いただいた意見の多くは相談支援に関するものでした。障害のある人ひとり一人のニーズに合ったプランの作成が大切で、それが親の支援無きあとの生活サポートに繋がっていきます。人材不足ですべての人が計画相談を立てられる状況ではありませんが、早期に解決するよう要望していきます。

8月末には川崎市への「令和6年度予算要望」が行われます。今困っていることや将来への不安など、会員の皆様の声が必要になります。支部役員やホームページのお問合わせ欄よりご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会第11回総会 令和5年度定時総会

5月12日（金）地域福祉施設「ちどり」会議室に於いて開催しました。本来、来賓をお迎えしての開催となりますが、今年度は創立10周年記念式典を3週間後に控えていたため、縮小して会員のみで開催となりました。各支部から選出された代議員と役員及び運営委員からなる構成員32名のうち出席31名（書面表決者6名、委任状2名を含む）で、総会の成立が確認されました。



議長に梅田会計が選出され、議事について審議を行いました。

《議事》

- 第1号議案 令和4年度事業活動報告（案）
- 第2号議案 令和4年度決算報告（案）・会計監査報告
- 第3号議案 会則改正（案）
- 第4号議案 令和5年度・令和6年度役員選出（案）
- 第5号議案 令和5年度事業活動計画（案）
- 第6号議案 令和5年度予算（案）

*議案は、賛成多数で全て可決されました。詳細はHPをご覧ください。か、支部代議員にお問い合わせください。

総会の終わりには、喫緊の課題である人材不足についてや施設での虐待・相談支援等について意見交換が行われました。また、自力通所の方の交通費についてなど、心配事などを共有することができ「みんなで行政に声をあげていきましょう」と結びました。

（副会長 吉野 明美）

令和5年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

支部名	氏名	住所	電話番号
川崎支部	安達 ゆかり	川崎区小田	333-2858
幸支部	高山 君子	幸区戸手	544-9038
中原支部	西澤 知子	中原区市ノ坪	433-0662
高津支部	太田 理佐	高津区新作	877-2134
宮前支部	小澤 千枝	宮前区土橋	090-9233-1627
多摩支部	神田 明子	多摩区长尾	080-3213-9052
麻生支部	黒瀬 晶子	麻生区片平	986-9869

令和5年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 委員の紹介

	余暇活動	研修事業推進	広報	権利擁護
川崎支部	◎安達・○松本	山入端・齋藤	安達・○板垣	◎阿部・山入端
幸支部	小板橋		○高山	
中原支部		西澤	木村	○西澤
高津支部		太田	◎三浦（ル）	三浦（ル）
宮前支部	小澤		小澤	門間
多摩支部		◎神田	神田	
麻生支部	小林	○磯・黒瀬		

◎は委員長、○は副委員長

一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)


障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?*

(※)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから



<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]

ぜんち共済株式会社


ZENCHI

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))


特長1



**代理手続き
代理告知が可能**

障がいのある方向け
プラン


特長2



**告知対象
疾患の緩和**

障がいのある方向け
プラン

特長3




**“親なきあと”に
備える補償**

障がいのある方
ご家族向けプラン

たった1分
スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェーブの登録商標です。



[引受保険会社]
東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

2022年5月作成 22-TC00935

-5-

令和5年川崎市心身障害児者福祉大会

6月24日(土)13時より、高津市民館大会議室に於いて、「川崎市心身障害児者福祉大会」が「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街」をスローガンに開催されました。

第一部式典には川崎市長をはじめ、市議会議員の方々、福祉関係者、各親の会会員など多くの出席がありました。第二部は、「NPO法人口から食べる幸せを守る会」理事長小山珠美氏の講演会を行いました。



令和5年 大会宣言

本大会のスローガンである“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”を実現するため、ここに集う方々と共により一層行動することを誓い、次の事項を決議します。

1. 地域の中で、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

令和3年度から施行されている第5次ノーマライゼーションプランでは、「障害のある人もない人もお互いを尊重しあいながら共に支え合う自立と共生の地域社会の実現」とありますが、それが着実に進んでいるのか見直す時期にきています。高齢化などのライフステージ及び多様なニーズに応じた支援体制と相談支援体制の更なる充実とサービスの整備を求めます。

同時に、障害特性を理解し、状況に応じて柔軟に対応できるような人材の育成の促進を強く望みます。

2. 地域の一員として安心して暮らし続けられることがあたりまえの社会になるよう、一層の啓発を進めます。

障害者差別解消法に謳われている「障害を理由とする差別のない、自立と共生の地域社会づくり」のためには、障害理解の一層の啓発を進めていかなければなりません。一人の人としての人権が尊重され、安心して過ごせるあたりまえの暮らしと幸せを求められる地域社会を目指し、啓発を進めてください。親の会も、ともに啓発を進めてまいります。

障害があってもなくても共に認め合う共生社会の実現、人権尊重のまちづくり、共に生きる社会の実現を目指して、私たちと一緒に考えてください。

令和5年6月24日

令和5年川崎市心身障害児者福祉大会実行委員会

令和5年川崎市心身障害児者福祉大会 市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦



本日は、「令和5年川崎市心身障害児者福祉大会」が、多くの皆様のご参加により盛会に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

主催者であります「川崎市育成会手をむすぶ親の会」「川崎市自閉症協会」「川崎市肢体不自由児者父母の会連合会」の3つの親の会におかれましては、実行委員会として長きにわたりこの福祉大会を主催され、また障害児者の社会参加の促進をはじめ、障害の理解を広めるための啓発活動等にご尽力され、川崎市の障害福祉に多大なる貢献をいただいておりますことに、深く敬意を表するとともに厚く御礼申し上げます。

今、会長からもお話がありましたけれども、今年はノーマライゼーションプランの改定ということで、障害者福祉計画・障害児福祉計画両方が今年度で期限が切れるということで、新しいものを作っていくためには、具体的な数値目標ですとか、事業をプランに書き込んでいくという意味では、皆様の声は大変大切でありますので、是非ご意見をいただきたいと思っております。

今年3月に発表いたしましたけれども、障害のある方の生活ニーズの調査結果が発表され、私もその概要につきましてしっかり読ませていただきました。やはり様々なニーズがあること、お一人お一人みんな違うということは当たり前の話ですが、まだまだ経年で見て行っても皆様のニーズが満たされていないということが課題だと感じました。そのことを意識したうえで、しっかりと政策を進めていきたいと思っております。

様々な関連計画の最も上位概念にありますのは、地域包括ケア推進ビジョンになるわけですが、これは障害がある、ないということに関わらず、誰もが住み慣れた地域、あるいは自らが望む場所で暮らし続けることができる地域づくりを目指しております。是非そうした高い目標を持った社会に向けてみんなで支え合いながら、お互いを認め合い、尊重し合う社会を作っていきたいと思っております。

さて、川崎市は来年7月に市政100周年を迎えます。

これまで、さまざまな特徴、特性を持つ人たちが川崎でともに暮らし、互いに「認め合い」「支え合い」「高め合って」きたことが、本市のブランドメッセージにあるように「多様性」を「可能性」とし、川崎を成長させてきました。

これからさらに川崎を成長させるため、様々な取り組みに力を入れてまいります。施策の推進にあたりましては、当事者団体の方々をはじめ、様々な方との連携が大変重要でございますので、今後におきましても、引き続き皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、心身障害児者福祉大会のさらなるご発展、そして、本日ご参加の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。



第2部 講演会 テーマ『口から食べる幸せ』

講師 NPO 法人 口から食べる幸せを守る会
理事長 小山 珠美氏

NHKの「プロフェッショナル仕事の流儀」に紹介されていた方ということが紹介され登壇されました。

各自にペットボトルが配られ、水を含み口を開いた状態や、上を向いた状態で飲むことを試してみました。会場ではむせてせき込む声が聞こえていました。具体的に食べ物がどのように食道を通過するのかを動画で詳しく確認でき、誤嚥（ごえん）はどのように起こるのか、体力の落ちている人や病気の方はむせるという本来人が持っている反射機能が落ちていて重篤な誤嚥性肺炎を引き起こすということにもつながると話されました。



30年ほど前に胃ろうが普及し、食事がとれなくなった、食が細くなった人に積極的に使われることとなり、思いやりの感度が鈍くなってきたように思われてNPO法人を設立されたそうです。食べることをやめさせてしまったらその先の希望が断ち切られてしまい、食べるという楽しみ、喜び、幸せの共有を奪ってしまうこととなることも話しておられました。

自分たちで食事をとれる人には関係ない話題のようですが実はそうではなく、自分の嚥下、食事の姿勢を確認、家族や子どもたちの食事の仕方を見直す機会にもなりました。

(神田 明子)

かわさきキャラバン隊講演

権利擁護委員会



5月13日（土）今年度第1回目のかわさきキャラバン隊の講演を、一般社団法人神奈川県政成年後見センターの研修会で神奈川県民センターに於いて行いました。参加者は24名で、実演とZOOMを使って疑似体験を行いました。

はじめに親の会の紹介から親の話、続いて知的障害疑似体験の4つのプログラムを、皆さんに体験していただきました。共有画面が上手く接続できずバタバタしましたが、無事にすべてのプログラムを行うことができました。一つ一つのプログラムに拍手してくださり、熱心に参加してくださいました。

講演の後で質問や感想をお聞きする時間もあり、知的障害のある人の特性が少しだけでもわかったとのこと、また私たちに「子育てをして嬉しかったエピソードは何ですか?」と質問があり、それぞれが親の思いを話しました。

後見をされている方から、「同じ目線で話をするようにしているが、今日の講演は参考になった」とのご意見もいただきました。

年末「慰問金・見舞金・支援金」申請について

各区の社会福祉協議会では、「年末たすけあい運動」で寄せられた募金を、申請のあった対象世帯に配布されています。区によって『支援金』『慰問金』『見舞金』など、名称は異なりますが、在宅で、療育手帳A、身体障害者手帳1・2級の方など（入所やグループホーム、長期入院は対象外）に10月末ごろに申請期限を設定している区が多いようです。

例年、この配分金を各世帯に届けてくれるのは、その地区担当の民生児童委員です。日頃接触の少ない民生委員の方に、「ここに障害者がいます。」と、知っていただくのは、お互いに良いことではないでしょうか。

支部通信

第22回多摩ふれあいまつり

多摩支部支部長 神田 明子

6月18日(日)多摩区総合庁舎にて行われました。例年会の活動紹介を展示と広報紙、会のパンフレットなどを設置しております。前日のパネル展示準備の試行錯誤や当日の雰囲気をも楽しみにしています。今年度は通常開催であったため、子どもから年配の方まで足を運んでくださってとても多くの方で賑わっていました。



第一部では、明治大学のマンドリン倶楽部のコンサートでした。1923年古賀政男氏と数名の学生たちによって創部されたということはこのコンサートで初めて知りました。セットリストの中に古賀メロディーが入っており「令和」の時代に「昭和」の世界に浸りました。第二部の始めは我が家の近所のボクシングジムのスパリングでした。間近で見るのは初めてだったので迫りに圧倒されました。その後ダンスや和太鼓など皆が楽しめる内容でした。ホールだけではなく、1階から5階まででいろいろな催し物があります。次回は来年6月16日(日)開催予定です。足を運んでいただければ嬉しいです。

おしゃべり多摩7月

7月6日(木)10時30分より「福祉パルたま」で久しぶりのおしゃべり多摩をおこないました。子どものこと家庭のことなどやいろいろなおしゃべりを楽しみました。自宅に眠る若いころに作った和服をどうするかという話や、習い事としてピアノ教室に通わせていて今も続けているという話、公文に行っていたが課題を頑張りすぎて、拒否反応が現れたという話、スイミングクラブでの経験談や失敗談、自力でスポーツクラブに通う子どもさんの様子を教えてもらったり、レスパイトは親のためなのか子どものためなのか、作業所の食費の価格など今回も話題は尽きることなくあっという間に時間が過ぎてしまいました。



第48回 かわしん ふれあい市場

5月19日(金)川崎信用金庫本店ロビーにて、「ふれあい市場」が開催されました。コロナ禍の影響で、4年ぶりの開催となりました。川崎市内の作業所など13店舗が出店しました。手工芸品やビーズアクセサリ、手作りのクッキーやパンなど、様々な製品を販売しました。製品を手にとると、手作りのぬくもりを感じ、ふれあいの場が再開できたことを嬉しく思いました。バスケットボール男子B1の川崎ブレイブサンダースのマスコットのロウルも駆けつけ、会場を盛り上げていました。次回は10月20日(金)10時から15時まで開催予定です。楽しみです。(板垣 ひとみ)



ふれあいバザールみぞのくち(ふれあい製品展示即売会)開催のお知らせ

日時 令和5年11月9日(木)11時～18時

場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅改札外 南北自由通路

「私たちの広場」川崎スポーツの会（スポーツ大会）

6月11日（日）スポーツ大会を中央支援学校体育館で行いました。種目はバトミントンとボッチャです。

「ボッチャ」は、2チームに分かれて対戦しました。まとの白いボール目掛けて力任せではなく微妙な技術を合わせての静の動き、一投一投、期待と思惑が入交り、ため息ありガッツポーズありの展開となりました。

後半はメンバーいち押しの「バトミントン」です。今回もコーチに指導をお願いしました。基本練習をし、ラケットも馴染み、シャトルも飛び出してラリーも続くようになり、闘志も湧き、してやっつりの顔。「今日初めてやったけど楽しかった。」と満足げな表情も見られました。それぞれ、久しぶりに体を動かし心身ともにリフレッシュ！！梅雨の合間、心地よい汗をかいた一日となりました。



（私たちの広場支援者 針木）

すったもんだの毎日

26歳の娘は明るく穏やかな性格ですが、発語が殆どありません。体調の悪い時は我慢をしまい、私が推し量るしかないのが悩みです。2年前の9月、夜中に起きてきた娘の顔色が悪く様子が少し変です。「お腹が痛いの？」と聞いても、大きな目で私をじっと見つめるだけ。そのうち嘔吐まで始まり、朝方には便に血液が混じっていたので、私も真っ青です。一睡もできないまま朝一番で受診したところ、虚血性大腸炎との診断。「絶食して点滴で腸を休ませるしかないの、このまま入院していただきます。ただお嬢さんは1人で入院することができないので、お母様とご一緒ということになってしまいます」と医師から説明がありました。あまりにも急な話ですが、娘の様子を見ると考える余地はないようです。しかも値段の高い個室しか空きがなかったのですが、そこに入るしかありませんでした。短時間で私の着替えなどを自宅まで取りに行き、娘のものは全てレンタルです。

コロナが流行している時だったので、2人で抗原検査とPCR検査を受けてそのまま入院しました。その後は点滴のみから少しずつ口から飲食できるようになり、見る見るうちに回復して、予定より早く退院することができました。



娘は重度障害の医療証を持っているので、通常は医療費が掛からず、医療保険の加入をつい後回しにしていました。そのような時に突然の入院。個室代、食事代、レンタル代、付き添いのPCR検査代など、多額の出費になってしまいました。

何ごとも早めに…が今回の教訓です。それでも、私にとって娘の笑顔にかわるものではありません。

（A・K）

『手をつなぐ』を購読しませんか!!

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。年間購読料は3,900円です。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡をお願いします。



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和5年4月18日～令和5年7月18日まで》

<各種会議、行事>

5月 1日 (月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
8日 (月)	会計監査	地域福祉施設「ちどり」
12日 (金)	第11回定時総会	地域福祉施設「ちどり」
13日 (土)	かわさきキャラバン隊知的障害疑似体験講演	神奈川県民センター
16日 (火)	第2回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
17日 (水)	第1回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
23日 (火)	第1回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
6月 1日 (木)	創立10周年記念式典	川崎市総合自治会館
2日 (金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
13日 (火)	第3回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
20日 (火)	第2回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
7月 7日 (金)	第2回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
10日 (月)	第2回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
18日 (火)	第4回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

4月 18日 (火)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
20日 (木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
29日 (土)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター理事会	オンライン
5月 9日 (火)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
17日 (水)	川崎市精神保健福祉家族会連合会あやめ会総会	川崎市総合自治会館
18日 (木)	あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
18日 (木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
19日 (金)	かわしん ふれあい市場	川崎信用金庫本店
22日 (月)	障害者団体部会正副部会長会議	川崎市総合福祉センター
25日 (木)	神奈川県障害児者団体連絡協議会運営委員会	神奈川県民センター
25日 (木)	やまゆり障害児者生活サポート協会理事会	神奈川県民センター
30日 (火)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
31日 (水)	川崎市自立支援協議会	ソリッドスクエア
6月 5日 (月)	公益社団法人日本発達障害連盟理事会	オンライン
7日 (水)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター理事会	オンライン
14日 (水)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター総会	地域福祉施設「ちどり」
15日 (木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
16日 (金)	関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
20日 (火)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
22日 (木)	社会福祉法人育桜福祉会評議員会	法人事務局(白楊園)
24日 (土)	川崎市心身障害児者福祉大会	高津市民館
28日 (水)	社会福祉法人ともかわさき評議員会	法人事務局
28日 (水)	社会福祉法人川崎市事業団評議員会	法人事務局
29日 (木)	川崎市社会福祉協議会評議員会	てくのホール
7月 12日 (水)	みらいとの意見交換会	川崎市第2庁舎
13日 (木)	あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
14日 (金)	公明党との政策懇談会	川崎市第2庁舎

寄付金	宮崎 しな	2,600円	匿名	10,000円
	山田 勝子	10,000円		(順不同・敬称略)

第11回 総会



会長挨拶



新三役

川崎市心身障害児者福祉大会



各支部支部長



各委員会委員長



実行委員長挨拶
美和会長



大会宣言
吉野副会長



第二部司会
加藤副会長



第二部講演会

編集後記

梅雨も明け、暑い毎日ですがいかがお過ごしでしょうか。5月中旬から6月末にかけて、第11回定時総会、創立10周年記念式典を行い、令和5年川崎市心身障害児者福祉大会も当会担当で開催されました。今号にその報告を掲載しています。紙面の都合もあり、詳細はホームページをご覧ください。日々の暮らしの中でのちょっとした「すったもんだの毎日」も掲載しています。皆様の「すったもんだの毎日」をお寄せいただけませんか。心よりお待ちしております。

広報委員長 三浦 ルイ子

【も く じ】

- P. 1 … 「創立10周年記念式典」
- P. 2 … 美和会長挨拶/来賓祝辞/感謝状
- P. 3 … 第二部記念講演/やまゆり広告
- P. 4 … 美和会長挨拶/第11回定時総会報告
- P. 5 … 支部代表者紹介/各委員会委員長紹介/ぜんち共済広告
- P. 6 … 川崎市心身障害児者福祉大会報告/大会宣言
- P. 7 … 福祉大会市長祝辞
- P. 8 … 福祉大会第二部講演会/かわさきキャラバン隊講演/慰問金申請
- P. 9 … 支部通信多摩ふれあいまつり/おしゃべり多摩/ふれあい市場
- P. 10 … 「私たちの広場」/すったもんだの毎日/手をつなぐ購読
- P. 11 … 活動報告/寄付・賛助会費
- P. 12 … 三役・支部代表者・各委員会委員長/編集後記/もくじ

…編集委員…

- 三浦 ルイ子
- 高山 君子
- 板垣 ひとみ
- 安達 ゆかり
- 加藤 敦子
- 梅田 順子

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」

TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>